

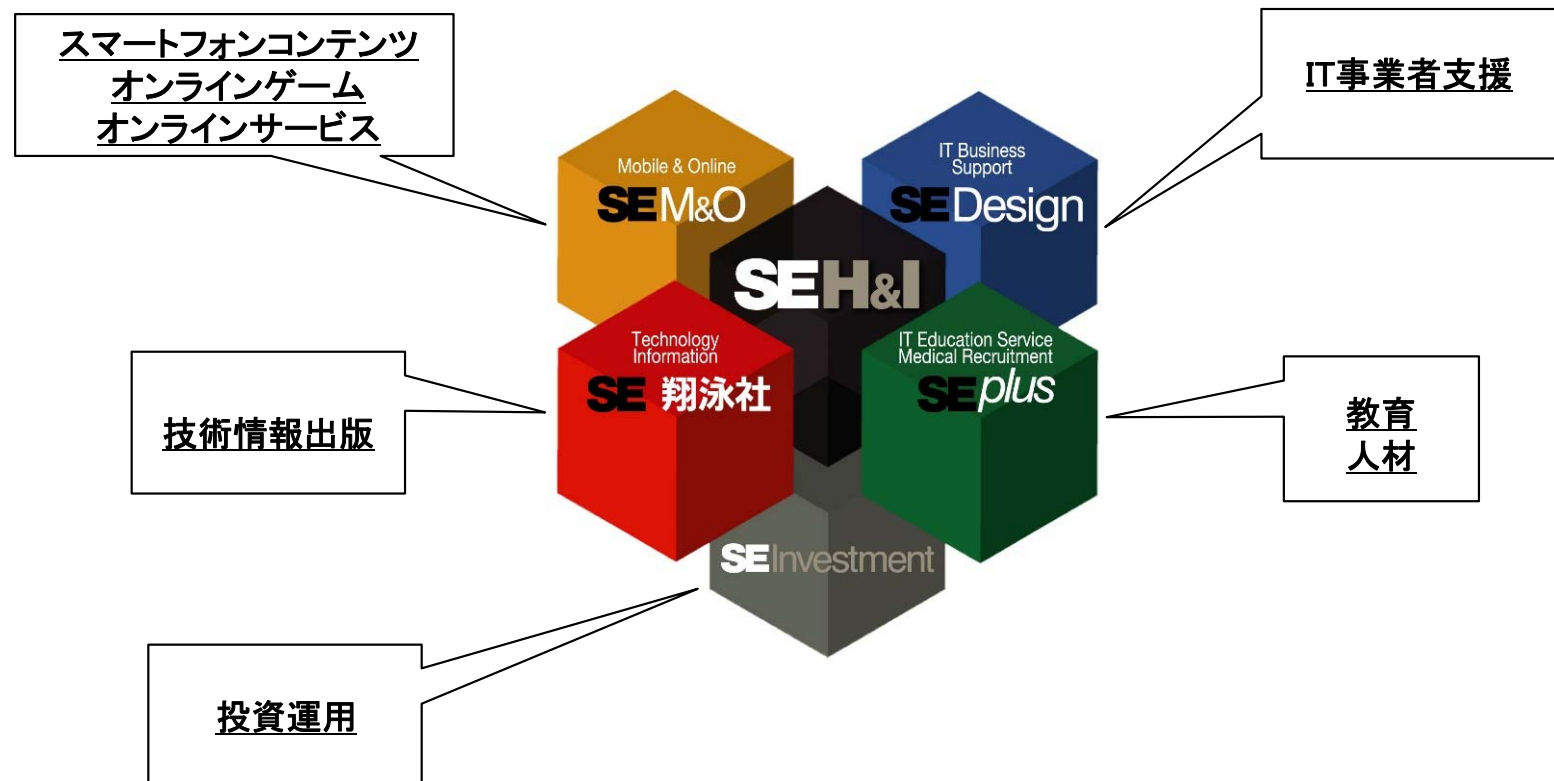
2026年3月期決算
および
今後の事業展開について

2026年6月
SEホールディングス・アンド・インキュベーションズ株式会社



当社グループについて

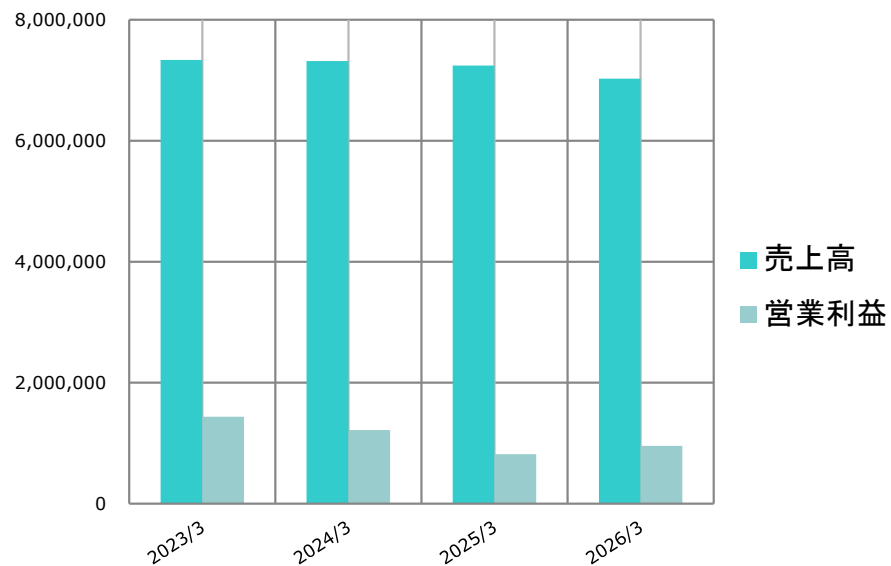
ITを中心とした事業会社群と長期投資により長期成長を目指す企業集団



当社グループについて

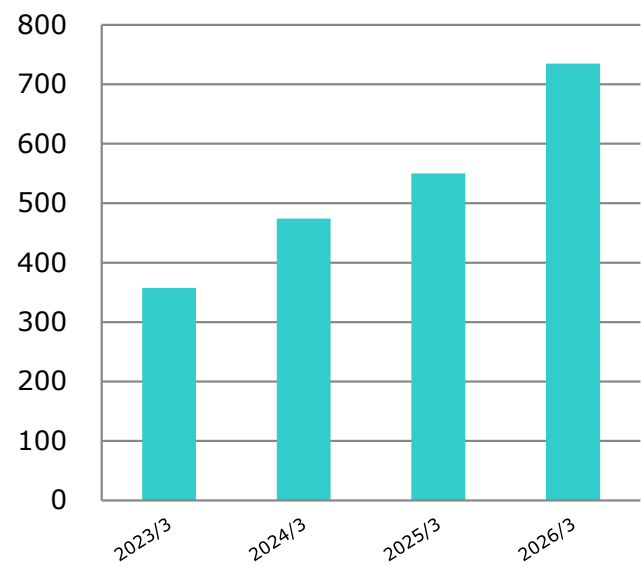
売上高及び営業利益

(単位: 千円)



1株当り純資産額

(単位: 円)



事業会社群と長期投資収益の両輪により長期利益成長と純資産成長を目指す。



2026年3月決算について

2026年3月期決算概要

期初の重点課題：

1. 事業会社各社の再建
2. 新規収益基盤の創出
3. 事業会社経営人材の拡充と育成
4. 収益基盤の質の多様性による長期成長基盤の充実

<概況>

- ①グループ全体で前期比減収増益。出版事業、コーポレートサービス事業が苦戦
運用セグメントが増益
- ②出版事業は再建のため事業のスリム化や在庫削減などを行ったことにより減収減益
- ②コーポレートサービス事業は、受注の減少により減収、更なるリストラを行う
- ③ソフトウェア・ネットワーク事業はリストラによるコスト削減効果などにより利益回復
- ④教育・人材事業は、IT人材研修事業売上が比較的堅調に推移したものの、
人材採用コスト増加などにより、売上は前期並みながら減益
- ⑤投資運用事業は、配当収入の増加に加え、市場の過熱状況を勘案し、当社基準に照らし割高と思われる一部保有株式の売却益を計上したことから増収増益

連結損益計算書

(単位:百万円、%)

	2026/3連結	2025/3連結	前期比(%)
売上高	7,026	7,242	△3.0
売上総利益	3,402	3,541	△3.9
販管費	2,446	2,723	△10.2
営業利益	955	817	16.8
経常利益	803	810	△0.8
特別利益	123	—	—
特別損失	0	6	△99.9
親会社株主に帰属する当期 純利益	633	531	19.2

※包括利益	2,695	995	170.7
-------	-------	-----	-------

事業セグメント別損益(出版事業)

IT関連書籍出版等

	2026/3 連結	2025/3 連結
売上	4,026	4,376
セグメント 利益	524	740

- イベント売上は堅調に推移
- オンライン広告収入は回復傾向
- 紙書籍事業のスリム化や在庫削減を実施

事業セグメント別損益(コーポレートサービス事業) IT関連企業向マーケティング・プロダクト関連支援

	2026/3 連結	2025/3 連結
売上	670	840
セグメント 利益	△4	△26

- **既存クライアントからの受注減を
主因に減収**
- **事業の大幅な再構築に取り組み
スリム化を図る**
- **再建コストが収益を圧迫**

事業セグメント別損益(ソフトウェア・ネットワーク事業)

ソフトウェア開発、コンテンツ開発・提供

	2026/3 連結	2025/3 連結
売上	787	762
セグメント 利益	45	△10

- **ソリューション事業、受託開発事業は比較的堅調に推移**
- **リストラ効果により、黒字化**

事業セグメント別損益(教育・人材事業)

IT技術者教育、医療系人材紹介

	2026/3 連結	2025/3 連結
売上	912	912
セグメント 利益	157	194

- IT人材研修事業は堅調に推移
- 人材・採用コストなどの増加により減益

事業セグメント別損益（投資運用事業）

有価証券投資

	2026/3 連結	2025/3 連結
売上	629	350
セグメント 利益	522	251

- **マーケット状況を勘案して一部保有株式の売却を進めたことにより大幅増収増益**
- **前期の株式市場は全体的に割高水準と考えている**

連結資産・負債の状況

(単位:百万円)

勘定科目	2026/3連結	2025/3連結	比較増減	主な要因
流動資産	17,229	13,711	+3,518	営業投資有価証券+3,523、現金及び預金+299
固定資産	1,460	1,833	△373	土地△284、投資その他の資産その他△19
資産合計	18,690	15,545	+3,145	
流動負債	3,886	3,880	+6	短期借入金+201、1年内償還予定の社債△100、買掛金△56、
固定負債	3,571	2,619	+951	繰延税金負債+955
負債合計	7,457	6,499	+957	
純資産合計	11,233	9,045	+2,188	その他有価証券評価差額金+2,062、利益剰余金+457、資本剰余金△427
(自己株式)	(△355)	(△451)	(95)	
有利子負債	3,610	3,488	+122	

2027年3月期通期連結業績予想

単位:百万円

	2026/3連結	2027/3連結	前期比
売上高	7,026	6,500	△7.5%
営業利益	955	850	△11.0%
経常利益	803	730	△9.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	633	500	△21.1%

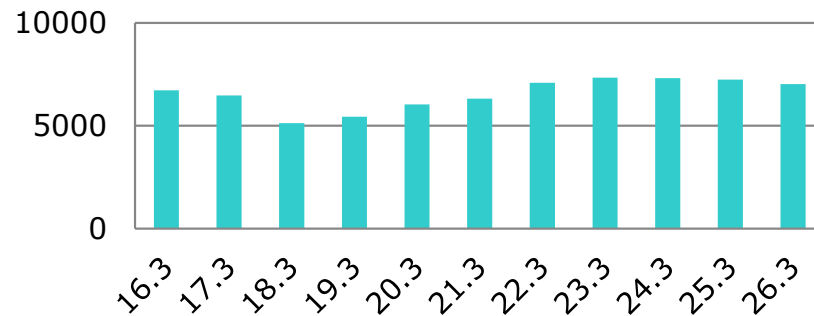
(注)現時点では2026年5月8日に公表した連結業績予想に変更はありません。



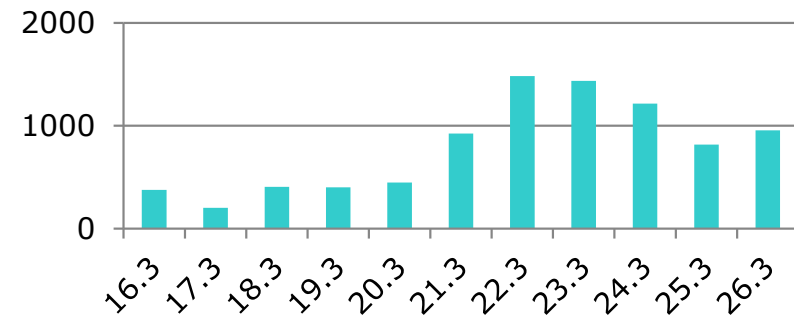
今後の事業展開について

長期の利益成長、純資産増加を目指す。

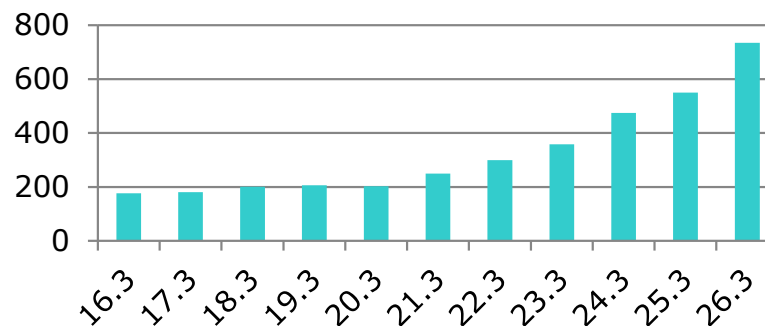
売上高



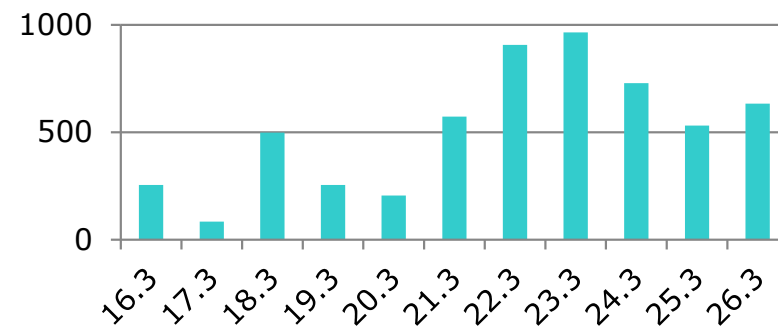
営業利益



1株当り純資産額



当期純利益



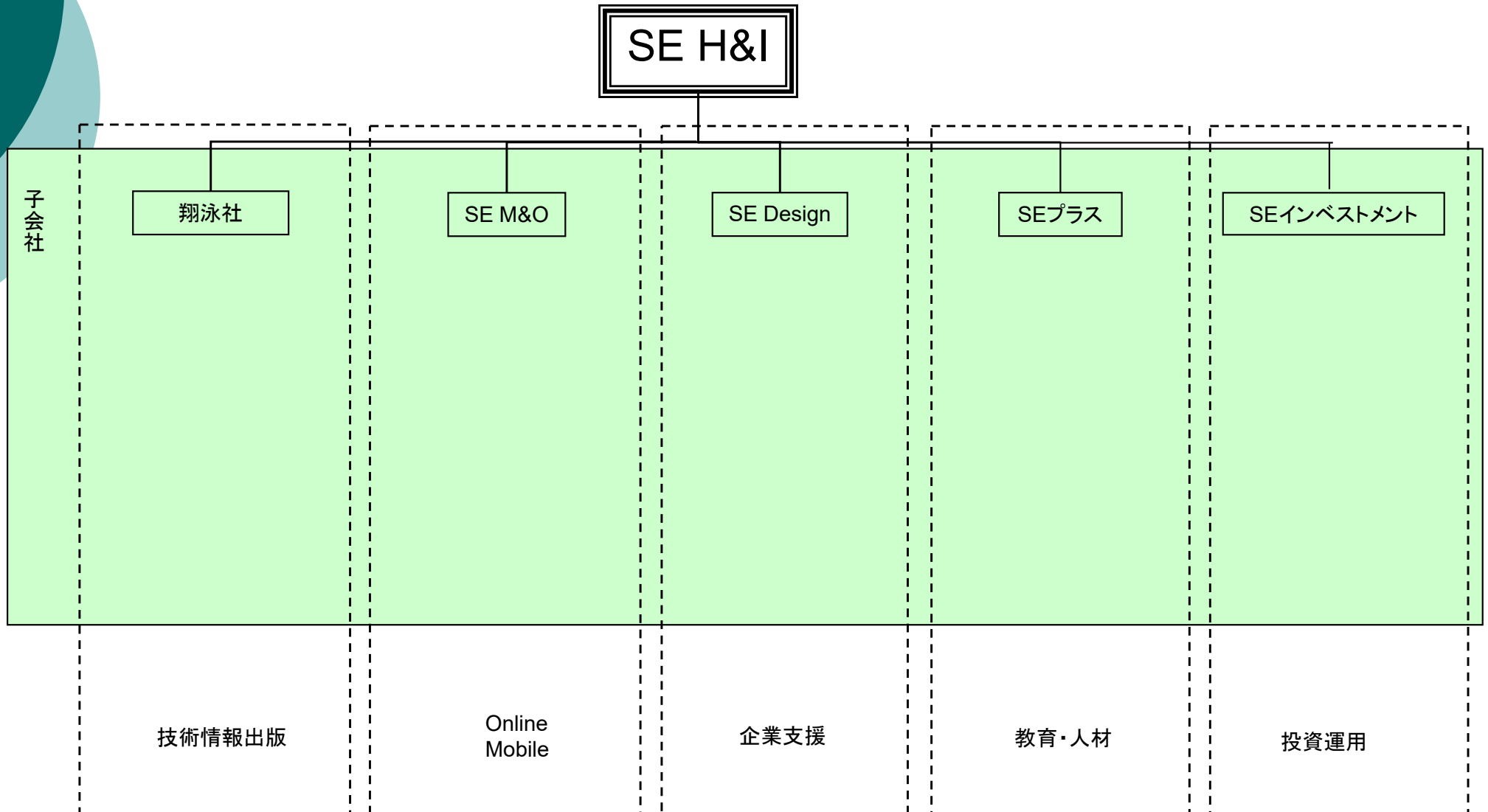


中長期の成長へ向けて

中長期成長へのポイント


- 事業会社経営人材の育成
- 新しいビジネスシーズの模索と不採算事業の再建、選別
- 収益基盤の質の多様化、事業利益と投資利益の両輪による長期成長基盤の充実
- 投資セグメントについては、短中期的には反動リスクもあるが、長期利益を見据えた投資を続けていく
- 経済環境、経営環境への適応と将来への準備

SE Holdings&Incubationsの事業会社構成



総括

- **2026年3月期は、全体売上は事業会社の再建、効率化により減収ながら主に投資事業の好調により増益**
- **出版事業は、イベント売上が堅調、オンライン広告収入も回復傾向。紙媒体事業の効率化や在庫削減負担などにより減収減益**
- **事業会社各社の自律的再構築を進める**
- **中長期成長へマネジメント人材の育成・新しいビジネスシーズの発掘に取り組む**
- **前期中、特に中東紛争前の株式市場は世界的に割高水準にあると考えており短中期的には反動リスクを考慮、大幅調整など投資機会に備えキャッシュの拡充など長期利益を見据えた対応をおこなう**
- **事業会社群と長期投資の両輪により長期の実質利益成長、純資産増加を目指す**



ご不明な点、追加のご質問等は下記までご連絡ください。

SEホールディングス・アンド・インキュベーションズ株式会社
経営企画部経営企画課
03-5362-3700
ir@sehi.co.jp

- 本資料は、情報提供のみを目的としたもので、その他一切の目的を意図して作成したものではありません。本資料の情報は当社が信頼できると判断した情報源から入手したものです。その情報の正確性、完全性を全面的に保証したものではありません。また、本資料に記載された見解や予測等は、作成時点における当社の判断であり、今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。